

主な感染症

◎医師の診断を受け、意見書をもってから登園して下さい。

※印は症状により登園可能ですが医師の診断を受け意見書をいただく場合があります

病名	潜伏期間	感染しやすい期間	主な症状	登園基準
インフルエンザ (様疾患)	1～4日	症状がある期間・発症24時間前から発症後3日間程度感染力が強い	発熱、全身倦怠、筋肉痛 鼻カタル、咽頭痛、咳	発症した後5日を経過し、かつ幼児は解熱後3日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	約5日 最長14日	発症2日前から発症後7日～10日間・特に発症後5日間	発熱、咽頭痛、咳、鼻水 頭痛、全身倦怠、嘔吐、下痢	発症翌日から5日間経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで
百日咳	7～10日	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	発熱性咳の長期反復	特有の咳が消失した時・適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療を終了していること
はしか(麻疹)	10日～12日	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	上気道のカタル、発熱 粘膜診コプリック班	発疹に伴う熱が下がった後3日を経過し元気がよい時
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	16～18日	発症3日前から腫脹出現後4日	発熱、耳下腺、舌下線 顎下線の腫脹及び圧痛	耳下腺にの腫れが発現してから5日を経過するまで、かつ、全身状態が良好になるまで
三日はしか(風疹)	16～18日	発疹出現の前後7日間	朱々の発疹、軽熱 リンパ腺腫大	発疹が消失した時
水ぼうそう(水痘)	14～16日	発疹が出現する1～2日前からすべての発疹がかさぶた化するまで	軽熱、被覆部に発疹 斑点丘湿状→水痘→顆粒状痂皮	すべての発疹が痂皮(かさぶた)になった時
プール熱(咽頭結膜炎)	2～14日	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎の合併症	解熱し、主要症状がなくなつた後、2日を経過してから
流行性角結膜炎	2～14日	充血、目やになどの症状が出現した数日間	軽熱、頭痛、全身倦怠 結膜炎の炎症、眼瞼浮腫 目やに	治癒するまで
急性出血結膜炎	1～3日		流涙、結膜充血 眼瞼浮腫、滲出液	治癒するまで
溶連菌感染症	2～5日	抗菌薬内服を開始する前と開始後24時間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎 莓舌、頸部リンパ節炎 全身に発疹	抗菌内の内服後24～48時間を経過していること
感染性胃腸炎(ウイルス性) (ロタウイルス・ノロウイルスを含む)	・ロタウイルス1～3日 ・ノロウイルス12時間～48時間	症状がある期間と、症状消失後1週間	発熱、下痢、嘔吐	主な症状が治まり普段の食事ができること
マイコプラズマ肺炎 (うつる肺炎)	1～4週間	適切な抗菌薬治療を開始する前と、開始後数日間	咳、発熱 呼吸困難(重症の場合)	症状が改善し、元気であれば登園可能
※ 突発性発疹	約10日		高熱、3～4日後に全身に発疹	主な症状がほとんど消失し解熱後1日以上経過
ヘルペス性菌肉口内炎 (単純ヘルペス感染症)	2日～2週間	水泡を形成している間	口内炎症	症状が改善し、元気であれば登園可能 水泡あれば欠席
RSウイルス感染症	4～6日	呼吸器症状のある間 飛沫・接触感染	鼻汁・激しい咳・喘鳴など	主な症状がほとんど消失 全身状態が良いこと
ヒトメタニューモウイルス感染症	4～6日	呼吸器症状のある間	発熱・咳・痰・鼻汁 喘鳴・呼吸困難	重篤な呼吸器症状が消失し 全身状態が良いこと
アデノウイルス	2～14日	発症した後数日	発熱・喉の痛み、赤み、頭痛 嘔吐・下痢	症状が消失後2日を経過
※ 手足口病	3～6日	水泡消滅まで	感冒様症状 手足口に赤班→水泡	元気がよければ登園可能
※ りんご病 (伝染性赤班)	4～14日	発症出現前の1週間	顔面赤班とくに頬部の赤班性発疹	感染力はないので 元気がよければ登園可能
※ とびひ (伝染性濃痂疹・皮膚化症)	2～10日	水泡消滅まで	主として豆粒大の水泡 自覚症状あまりなし	他人への感染のおそれがないと医師が認めた時 つぶれた水泡をガーゼで処理
※ 水いぼ(伝染性軟属腫)	14～50日		球状のいぼ	